

2022年5月8日(日曜日)  
ライフパーク倉敷 第一会議室  
(倉敷市福田町古新田940)

Okayama Prefecture Triathlon Association (OTA)



一般社団法人

岡山県トライアスロン協会

第2回(2021年度)総会

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会(OTA)  
〒700-0986 岡山市北区新屋敷町3-11-3  
事務局 TEL:090-5373-8866  
e-mail:okym-tri@mx35.tiki.ne.jp  
URL: <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/>

## 総会次第

1. 開会あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. 議長および書記の選任
4. 議案(審議事項)
  - (1) 2021年度事業報告、決算報告および監査報告
  - (2) 2022年度事業計画および予算(案)
5. 報告事項
  - (1) 2022年度の協会運営体制について
  - (2) OTA強化指定選手制度について
  - (3) JTU社員報告およびJTU中国ブロック協議会報告
6. 閉会あいさつ

司会:一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 國部 浩孝



1. 開会あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 会長(代表理事) 繁田 政男

2. 来賓あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 顧問 衆議院議員 逢澤 一郎 様

3. 議長および書記の選出

議長:

書記:

4. 議案(審議事項)

(1) 2021 年度事業報告、決算報告および監査報告

【別紙資料①】 2021 年度事業報告

【別紙資料②】 2021 年度決算報告

【別紙資料③】 2021 年度監査報告

(2) 2022 年度事業計画(案)および予算(案)

【別紙資料④】 2022 年度事業計画(案)

【別紙資料⑤】 2022 年度予算(案)

5. 報告事項

(1) 2022 年度の OTA 運営体制について【別紙資料⑥】

(2) OTA 強化指定選手制度について【別紙資料⑦】

(3) JTU 社員報告および JTU 中国ブロック協議会報告

6. 閉会あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 副会長 丸山 彰治

## 2021 年度事業報告

## 1. OTA の状況(事務局)

## (1) 会員の登録状況(2021 年度/2022 年度)

OTA/JTU への登録者は、年々減少しています。これは、全国的な傾向で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020 年度から大会の開催が極端に減ったこと、また、社会環境の変化に伴い、練習環境が大きく様変わりし、選手のモチベーションが下がったことが大きな要因と考えております。

## 2021年度会費収入 (JTU会費含む)

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	28	1,000	28,000	4,000	112,000
一般継続	55	1,000	55,000	3,000	165,000
団体新規	14	500	7,000	4,000	56,000
団体継続	84	500	42,000	3,000	252,000
高校生	2	300	600	1,200	2,400
中学生	2	100	200	900	1,800
小学生	0	100	-	400	-
審判限定	4	-	-	2,000	8,000
合計	189		132,800		597,200
					730,000

JTU+協会

## 2021年度中国ブロック会費

登録区分	人数	ブロック会費	ブロック会費計	団体分担金	合計
2020年度一般会員	245	200	49,000	10,000	59,000

## 2022年度会費収入 (JTU会費含む)

2022年5月2日登録まで

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	24	1,000	24,000	4,000	96,000
一般継続	56	1,000	56,000	3,000	168,000
団体新規	9	500	4,500	4,000	36,000
団体継続	78	500	39,000	3,000	234,000
高校生	1	300	300	1,200	1,200
中学生	1	100	100	900	900
小学生	0	100	-	400	-
審判限定	3	-	-	2,000	6,000
合計	172		123,900		542,100
					666,000

JTU+協会

(2) 団体登録チームの状況(2021年度/2022年度)

2021年度、2022年度団体登録チームについて

2022年4月5日現在

団体登録チーム名	代表者名	2021年度	2022年度
岡山アイアンマントライアスロンクラブ	大和 信彦	6	7
Bon Vivant	宗定 敏文	8	8
アミーゴ倉敷トライアスロンクラブ	丸山 彰治	14	10
津山トライアスロンクラブ	見世 幸夫	0	0
チームままかり	中尾 信夫	9	8
東雲爆走隊	奥田 茂	6	4
チームウェーブ	原田 恭雄	26	23
三菱ケミカルトライアスロンクラブ	日下 一正	9	7
No Limits	由淵 真	0	0
ち〜む☆のざき	岩崎 功	5	5
児島AC	田中 泰志	6	6
SBR Phoenix	井上 朗弘	3	3
アスランクラブ	宇野 真理子	0	0
TEAM BLUE DOG	山本 温	2	4
合計		94	85

- 審判限定会員は含んでおりません。
- 団体登録とは、岡山県在住の代表者のもと、岡山県協会正会員 5 名以上で構成される団体で、団体単位で登録(岡山県協会、JTU)することを言います。
- 新規で団体登録を希望される団体の代表者の方は、岡山県協会事務局まで、ご連絡・お問合せください。
- 皆生大会への出場推薦:アミーゴ倉敷トライアスロンクラブより 1 名

(3) 審判員資格保有者(技術・審判委員会)

JTU 審判員(第 1 種)	女子	0 名	男子	4 名
JTU 審判員(第 2 種)	女子	6 名	男子	15 名
JTU 審判員(第 3 種)	女子	7 名	男子	28 名
WT TO(レベル 1)	女子	0 名	男子	1 名
WT TO(レベル 2)	女子	0 名	男子	0 名

~~更新状況の見直しを行った結果、昨年の報告人数より大きく減少することとなりました。~~

(4) 指導者資格保有者(指導者委員会)

JTU 公認初級指導者	9 名 (制度変更のため、専門科目に移行する必要あり)
JTU トライアスロン専門科目	0 名 (初級・中級保持者が移行し、さらにコーチ 1 に移行する)
JSPO アシスタントコーチ	0 名 (2021 年度より新設)
JSPO トライアスロンコーチ 1	12 名 (うち、女性 2 名)
JSPO トライアスロンコーチ 3	0 名 (2022 年度より新設、ワールドクラスコーチ)

2. 普及委員会

(1) 県内関係大会開催の状況

2021 年度は、県内での大会を開催することはできませんでした。倉敷ジュニアトライアスロン大会については、開催準備期間に移動制限等が出される事態となったため、OTA が主体の大会実行委員会で、2021 年の開催見送りを決定しました。

デュアスロン in しんごうは開催地域への新型コロナウイルス持ち込みの懸念から、倉敷国際トライアスロンについては感染拡大状況等の総合的判断から、各大会実行委員会が開催中止を決定しました。

(2) なださきデュアスロンの計画

2021 年度に前述のとおり県内での大会開催がなかったため、OTA 所属選手の大会出場の機会の創出と、所属審判員の技能向上を目的として、デュアスロン大会の開催を計画しておりました。クローズドサ

ーキットである、なださきレークサイドパーク(岡山市南区)を会場に、2022年3月開催を目標にとしておりましたが、まん延防止措置期間の関係等で準備が整わず開催を見送りました。

### 3. 技術・審判委員会

審判講習会を受講し、新規に取得、また、資格を更新された方への、資格者証の送付が遅れていることをご詫びいたします。現在、技術・審判委員会内で業務の見直しを行い、改善を進めておりますので、ご理解をお願いいたします。

#### (1) 審判員等の派遣

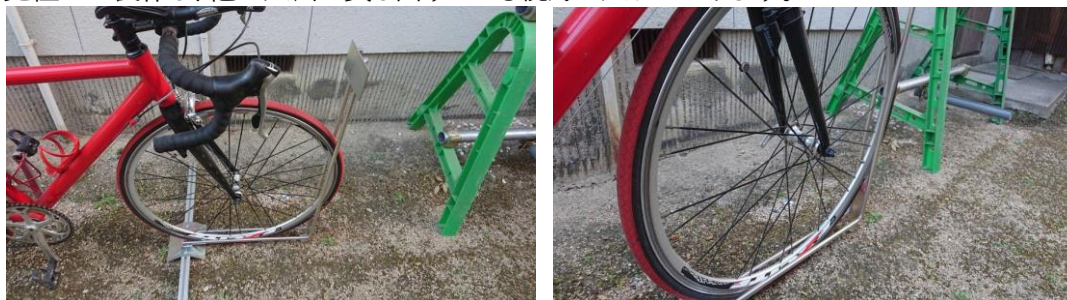
日程	大会名称等	派遣人数
4/23～25	アジアトライアスロン選手権 2021 廿日市大会(エリート、エイジ)	6名
7/29	個別認定記録会(倉敷市)	4名
10/3	近畿学生トライアスロン連合インカレ特別選考会(和気町)	9名
3/21	JTU 認定記録会岡山会場(岡山市)	14名

#### (2) 審判員の育成

3月6日(日)に、2021年度 JTU公認審判員資格講習会を開催しました。まん延防止措置期間の為、Web 会議方式で講習会を実施し、理解度確認テストで合否判定を行いました。当初は、なださきデュアスロンでの実技を含めた更新講習も計画しておりましたが、開催見送りのため講習会のみとなりました。新規の受講者はなく、更新講習受講者は、1種:3名、2種:6名、3種:4名 でした。

#### (3) バイクラックの製作

デュアスロン in しんごう、倉敷ジュニア、なださきデュアスロン等の県内大会で使用することを目的に軽量で取り扱いの良いバイクラック(エリートタイプ)を開発し、40台分を製作しました。6月開催のさくらおろちスプリント(岡山県国体予選会)での使用を提案しております。今後、OTA 関係大会に必要な台数を見極めて製作し、他の大会に貸し出すことも視野に入れております。



写真は試作品です。

#### (4) JTU 中国ブロック協議会との連携

中国ブロック協議会が Web 開催した、意見交換会、勉強会に参加しました。芳谷副会長(中国ブロック技術委員会 委員長)が座長を務めております。

### 4. 強化委員会

#### (1) 国体選手の選考、選手／監督の選考

国体予選会が開催できなかったため、予選会に申し込みのあった選手の中から JTU 認定記録会の結果を基に選手の選考を行いました。また、実績を基に有資格者から監督を選考しました。選考結果については、8月度合同会議で承認をうけています。国体が開催された場合はコーチの派遣を計画しておりましたが、国体の中止に伴い、コーチの選考は行っておりません。

成年男子 選手:高橋正俊(ふるさと)、中山雄貴(ふるさと)、監督:丸山彰治

予備登録選手:山本裕暉(ふるさと)

成年女子 選手:川村明子、池内美保、監督:溝手珠央

#### (2) 三重とこわか国体

8月26日付にて、三重国体の中止が決定されたため、選手／監督の派遣はしておりません。派遣決定選手には、出場資格証明書が発行されました。

#### (3) 認定記録会の開催

3月21日(月祝)に、OSK スポーツクラブ岡山プール、および岡山県営グラウンド補助陸上競技場を会場に実施しました。参加選手は14名でした。結果については、JTU の認定記録会のサイトに公表されております。今後、OTA 独自の強化指定選手制度を創設し、選手強化を推進していく予定です。なお、本記録会は JTU の地域支援事業を活用して実施しました。



## 5. 指導者委員会

### (1) J-Star プロジェクト(強化委員会連携)について

2021年度、J-Star プロジェクトで選考された森永遼太郎選手(ハンドボール出身)について、地方団体で定期的なトレーニング(主に陸上)実施してほしいとJTUより要望があり対応しました。10月から3月までの半年間でしたが、山下優一コーチ、田川淳一コーチが対応しました。また、陸上トレーニングにおいては、倉敷市スポーツ振興財団トライアスロン部のご支援をいただきました。

### (2) 中国ブロック Web 講習会

中国ブロック協議会が主導し、山口県を除く各加盟団体の持ち回りで Web 講習会を開催しました。外部講師、園田(林)美沙氏(立命館大学トライアスロン部栄養アドバイザー)に依頼し、「レースで力を出しきる補食のとり方」の題目で、2月20日に講習会を開催しました。

## 6. 総務委員会(事務局)

OTAの事務局として総務的な事項全般を行っているほか、JTU、岡山県、岡山県スポーツ協会等との渉外業務も行っております。

### (1) 会員登録

JTUの会員登録システムで会員登録の業務を行っています。(資格確認、承認) また、団体登録チームの一部については、書面での受付もしております。

### (2) 会計業務

協会会計およびジュニア大会会計の出納を行っています。

### (3) 会議運営

総会(1回/年)

理事会(4回/年)

理事会・委員会合同会議(毎月)

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会(基本毎月)

### (4) 情報発信

OTA Web サイト <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/>

倉敷ジュニア公式 Web サイト [http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/kurashiki\\_jr/](http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/kurashiki_jr/)

facebook <https://www.facebook.com/TriathlonOkayama>

繰越金の部

通帳	繰越金	通帳残高	備考
中国銀行	2,165,946	2,670,646	旧岡山県トライアスロン協会より
中国銀行ジュニア	1,417,828	1,417,828	旧岡山県トライアスロン協会より
現金	-	-	
<b>繰越金合計</b>	<b>3,583,774</b>	<b>4,088,474</b>	<b>通帳残高合計</b>

収入の部

	予算額	決算額	差異	内訳	
会費	745,000	730,000	-15,000	会費 (JTU会費を含む)	730,000
補助金	485,000	105,000	-380,000	岡山県スポーツ協会	105,000
主催事業収入	250,000	85,000	-165,000	記録会・練習会	85,000
賛助会員会費	-	-	-	審判講習会	-
雑収入	-	1,123	1,123	賛助会員協賛金	-
ジュニア事業	-	9	9	ルールブック	1,100
収入合計	<b>1,480,000</b>	<b>921,132</b>	<b>-558,868</b>	受取利息	23
		921,123	うち協会事業		9
		9	うちジュニア事業		

支出の部

	予算額	決算額	差異	内訳	
ジュニア事業	-	-	-	倉敷ジュニア	-
大会費用	80,000	-	80,000	しんごう	-
事務費	20,000	33,052	-13,052	倉敷	-
備品費	35,000	217,681	-182,681	なださきデュアスロン	-
通信費	84,000	31,502	52,498	インクカートリッジ	10,440
賃借料	78,000	80,601	-2,601	電池代(トラマガ)	612
審判旅費交通費	140,000	78,000	62,000	名刺代(役員)	22,000
役員旅費交通費	-	-	-	tikiikiモバイル接続料(HP容量追加含む)	18,959
租税公課	-	-	-	バイクラック製作(40台)	198,722
諸手数料	5,000	4,906	94	電話代(2021.4月~2022.3月)	29,080
会議交際費	40,000	3,402	36,598	総会費用については、旧協会で処理	-
登録費分担金	357,200	306,800	50,400	その他郵送料	2,422
主催事業経費	130,000	102,811	27,189	D-FAX年間利用料(サービス終了)	-
選手強化経費	657,000	-	657,000	家賃@5,000×12ヶ月分	60,000
雑費	-	-	-	電気代	4,659
支出合計	<b>1,626,200</b>	<b>858,755</b>	<b>767,445</b>	水道代	15,942
		858,755	うち協会事業		
		-	うちジュニア事業		

協会事業(中国銀行)

収入	921,123
支出	858,755
	62,368
	2,165,946
	2,228,314
未収金	-2,000
未払い金	1
未払い金	434
未払い金	4,844
前払費用	-10,000
前受金	399,400
	2,620,993

ジュニア事業(中国銀行ジュニア)

収入	9
支出	-
	9
	1,417,828
	1,417,837
	9
	2,620,993
	1,417,837
	9
	2,620,993

次期繰越金の部

通帳	繰越金	通帳残高	備考
中国銀行	2,228,314	2,620,993	
中国銀行(ジュニア)	1,417,837	1,417,837	
現金	-	-	
<b>繰越金合計</b>	<b>3,646,151</b>	<b>4,038,830</b>	<b>通帳残高合計</b>

以上のとおりご報告申し上げます。

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会

2022年 4月 24日

事務局長

岡 裕史

会計

濱田純子

承認

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会  
会長(代表理事) 繁田 政男 様

## 会計監査報告書

私ども監事は、一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 規約に基づき、2022年4月24日、2021年度(2021年4月1日~2022年3月31日)の一般社団法人 岡山県トライアスロン協会の収入および支出の執行が適正におこなわれているか否かについて監査しました。その結果、証拠書類及び関係書類は、記載すべき事項を正しく記載し、また支出すべて領収書等の証憑と合致していることを認め、ここに報告いたします。

2022年4月24日

監事 中尾 信夫 

監事 本間 信一 

## 2022 年度事業計画(案)

## 1. OTA 重点項目(理事会)

トライアスロンがある世の中が、今後も持続し、発展していくため、地方競技団体である OTA(一般社団法人岡山県トライアスロン協会)も持続し発展していかなければなりません。この目的を達成するため、OTA では次の重点目標を掲げます。

## (1) 会員数について

会員数の減少をくい止める。(2022 年度目標)

会員数を 350 名以上に回復させ、維持をし、協会の運営を安定させる。(中期目標)

## (2) 選手強化について

国体成年女子選手 2 名の発掘、育成(2022 年度目標)

ジュニア世代からの選手発掘、強化システムを構築し、国体で入賞できる選手を育成する。(中期目標)

## 2. 普及委員会

## (1) 県内関係大会開催の状況

6月12日 国体選手選考会(さくらおろちスプリント)

7月3日 デュアスロン in しんごう(開催見送り 4/25 付)

8月21日 倉敷ジュニアトライアスロン

毎月第3水曜日に実行委員会を開催し、準備を進めています。現在選手募集(5月31日まで)を行っています。OTA 会員の方の大会運営ボランティアを広く募集しています。

9月11日 倉敷国際トライアスロン大会(開催見送り 4/27 付)

デュアスロン in しんごうは開催地域への新型コロナウイルス持ち込みの懸念から、倉敷国際トライアスロンについては感染拡大状況等の総合的判断から、各大会実行委員会が開催中止を決定しました。

## (2) おかやまスポーツフェスティバル

岡山県スポーツ協会が主催する、おかやまスポーツフェスティバル(2023年3月5日開催予定)に出展し、「エアトライアスロン」の体験会を行い、トライアスロン競技の PR を行います。(岡山県営グラウンド)

## (3) スイム記録会・講習会の計画

例年、倉敷国際トライアスロン大会の初心者講習会も兼ねて実施していたスイム記録会・講習会について、今年度も計画します。

## (4) なださきデュアスロンの計画

2021 年度は開催できませんでしたが、OTA 所属選手の大会出場の機会の創出と、所属審判員の技能向上を目的として、デュアスロン大会の開催を計画します。場所は、なださきレークサイドパークとします。

## 3. 技術・審判委員会

## (1) 審判員の派遣

今年度も、コロナ前のような数の大会の開催状況ではありませんが、審判技能の向上の目的もあり、要請がある大会には積極的に審判員を派遣します。(岡山県内外のべ40名程度を計画) 派遣においては、感染防止の状況(各大会のガイドライン)、行動制限の状況を十分に考慮し決定します。

上級の審判資格の取得を目指す方につきましては、審判活動が資格認定の条件になりますので、技術・審判委員会にお問い合わせください。

## (2) 審判員の育成

通常の資格認定講習会については、2023年3月上旬を計画しています。前項でも記載しましたが、上級資格の取得を希望される方はお問い合わせください。

このほか、8月中旬(ジュニア大会開催前)にも資格認定講習会を計画しています。ジュニア大会のボランティアスタッフ(OTA 会員)に大会の運営と合わせて、審判活動にも興味を持っていただくことで、大会および OTA の持続につなげていくことが目的です。

#### 4. 強化委員会

男女ともに岡山県にゆかりのある選手について、発掘を行っておりますが、特に女子国体候補選手の発掘が急務であり、学連登録選手(大学生)等について調査を行っています。1名の選手について、国体予選に出場するように要請を行っています。

また、選手の強化制度について新たに構築を進めています。

##### (1) 国体選手の選考、選手／監督の派遣について

国体予選会は、6月12日にさくらおろちスプリント(中国ブロック選手権)に併催し、開催します。岡山県代表選手は、この大会の成績で決定します。国体予選会が正規に実施されなかった場合(例えば、一部地域の選手にコロナ対策のため移動制限があり、国体予選会に出場できなかった場合は、国体予選会に申し込んだ選手の中から、JTU認定記録会の記録を参考に強化委員会が選考し、理事会・委員会合同会議で決定します。国体監督(JSPOコーチ1資格者)についても、強化委員会が選考し、理事会・委員会合同会議で決定します。

また、コーチおよび予備登録選手の帯同については別途、強化委員会で協議の上、決定します。

##### (2) 強化指定選手制度について

今年度より、OTA独自の強化指定選手制度を創設し、選手育成、大会出場等のサポートを推進します。

【別紙資料⑦】

##### (3) 認定記録会の開催について

2023年3月21日(祝火)開催予定

OSKスポーツクラブ岡山 プール

岡山県総合グラウンド

エリート以外にも、一般選手、ジュニア世代にも参加をお願いします。

#### 5. 指導者委員会

##### (1) 指導できる場所の提供

普及委員会、強化委員会と連携し、OTA所属の指導者が力を発揮できる場所(イベント等)を提供できるよう、計画します。

##### (2) 指導者の育成

資格保有者のリストの整理を行い、失効者について復活の手続きを奨励していきます。JTU公認初級／中級指導者については、資格移行(専門科目→コーチ1、アシスタントコーチ)の案内を行っています。コーチ1資格者の更新に必要な講習会についても案内を行い、資格者の維持に努めます。

また、新たに創設された、JSPOトライアスロンコーチ3についても、選手強化の面と合わせて、中長期的に取得を目指すコーチを指定したいと計画します。

#### 6. 総務委員会(事務局)

2021年度事業報告と同様のため割愛します。

## 一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 2022年度予算(案)

会計期間:2022年4月1日~2023年3月31日

収入の部		支出の部			
会費 (JTU登録費込) 200名見込み	795,000	大会費用	100,000	倉敷国際トライアスロン大会	-
				デュアスロンinしんごう	-
				なださきデュアスロン大会	100,000
		ジュニア大会費用	2,600,000	倉敷ジュニアトライアスロン大会	2,600,000
		事務費	30,000	名刺・文具・印刷代等	30,000
県体協補助金 強化費補助金 ハイパフォーメンズ スポーツフェスティバル 国体	113,000 42,000 30,000 350,000	備品費	35,000	webサーバーレンタル代	20,000
		通信費	59,000	事務所消耗品等	15,000
				電話代	34,000
				郵送代(総会関係)	25,000
主催事業収入 記録会(30名) 練習会、講習会等 審判講習会 デュアスロン大会	300,000	賃借料	82,000	家賃	60,000
				電気代	6,000
				水道代	16,000
		審判旅費・日当	280,000	県内大会 倉敷、JTU認定記録会	130,000
				県外大会 愛南、高松、皆生、ひわさ、さぎしま、中土佐等	50,000
		役員旅費・日当	20,000	県外JTU大会、中国ブロック選手権派遣	100,000
主管料 大会運営協力金 (ゴルフトライアスロン) (倉敷リレーマラソン) (倉敷大会)	100,000	租税公課	50,000	開催者会議・ブロック会議等	20,000
		諸手数料	5,000	法人市民税(50,000円)	50,000
				登録免許税(2年毎)	-
		会議交際費	30,000	振込手数料等	5,000
賛助会員会費	-			総会関連(印刷費)	5,000
				理事会・委員会同会議ほか会場費	5,000
				各種交流会等参加費、慶弔費	20,000
				岡山県体育協会分担金	65,000
				JTU中国ブロック選手権大会分担金	50,000
				JTU会費	142,900
				JTU社員分担金	50,000
		JTU中国ブロック協議会会費・分担金	46,200		
		登録費分担金	354,100	SWIM記録会・練習会・審判講習会開催費	50,000
		主催事業経費	160,000	JTU認定記録会	80,000
				スポーツフェスティバル	30,000
				リレーマラソン	-
ジュニア大会 参加費(300名)	1,200,000			ドラフティング講習会等	50,000
ジュニア大会 協賛金	1,600,000	選手強化経費	763,000	強化指定選手(強化費補助金)	113,000
				国体派遣費(選手4名、監督2名)栃木県	600,000
小計	4,530,000	小計	4,568,100	年度収支	-38,100
前期繰越金	3,646,151	次期繰越金	3,608,051	※繰越金には災害対策費150,000円(原資:JTU義援金)を含む。	
合計	8,176,151	合計	8,176,151		

## 事務局より

- 一昨年度、昨年度から収入が減少しております。基本的に年度の収支を考慮して計画しています。
  1. 会員数の減少による会費収入の減少(新型コロナウイルスの関連で大会の開催がないためと思われます)
  2. ゴルフトライアスロン、倉敷リレーマラソンの今年度中止により大会運営協力金が得られないこと
  3. 賛助会員の見込みがないこと
- 支出について、国体が開催予定であるため国体派遣費を計上しており、支出に占める割合が大きいため、年度収支はマイナスとなっております。
- 繰越金、3,646,151円(うち、150,000円は災害対策費)については、今後、OTAの運営のため必要と判断する場合は取り崩しますが、一部は定期預金としておくことを考えております。
- 倉敷ジュニアトライアスロン大会事業の収益、および経費を組み入れておりますので、昨年度までと比較して予算規模が大きくなっております。
- 法人化に関する経費の支出は、市民税(50,000円/年)、2023年度に登録免許税を計上します。
- 収支(ほぼ収入)の改善に向けて  
新型コロナウイルスの感染拡大の終息が大前提となってきますが、会員数の確保が第一に必要です。350名程度の一般会員の確保が当面の目標になります。  
魅力ある岡山県トライアスロン協会に進化していく必要があります。(会員サービス、選手強化など)  
会費収入以外の収入源の確保が必要です。(大会運営協力金、賛助会員) 特に、今まで受け取れていなかった、大会主管料、開会協力金については、今後、各大会事務局に申し入れを行っていくこととします。

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 2022年度役員

理事会

会長	繁田 政男 (代表理事)
副会長	丸山 彰治
副会長	芳谷 治
事務局長	岡 裕史
監事	中尾 信夫

総務委員会

委員長	野田 崇
委員	溝手 珠央
委員	磯崎 英彰 (ジュニア広告)
委員	柘野 佐織 (ジュニア会計)
委員	浮田 純子 (会計)
委員	岡 裕史

普及委員会

委員長	田中 泰志
委員	藤井 弘文
委員	山下 優一
委員	国部 浩孝
委員	白川 卓司
委員	佐山 公明
委員	岡 裕史

技術・審判委員会

委員長	永田 茂浩
委員	溝手 珠央
委員	長谷川 博三
委員	森田 直道
委員	宗定 敏文
委員	芳谷 治

強化委員会

委員長	浅井 祐哉
委員	藤井 弘文
委員	岡本 崇
委員	木南 達昭
委員	田川 淳一
委員	丸山 彰治

指導者委員会

委員長	木南 達昭
委員	浅井 祐哉
委員	山下 優一
委員	白川 卓司
委員	岡 裕史

※委員には重複しての配置があります。

※OTA運営の円滑化のため、委員の配置、増員につきましては、随時見直します。

監事

監 事 中尾 信夫  
監 事 太宰 信一（外部）

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

会 長 繁田 政男  
副会長 田中 泰志  
実行委員長 浅井 祐哉

J T U中国ブロック協議会

理 事 繁田 政男  
理 事 永田 茂浩（審判委員会）  
理 事 岡 裕史（監査）  
委 員 芳谷 治（技術委員会）  
委 員 河合伸一郎（メディカル委員会）  
委 員 木南 達昭（アンチドーピング委員会）  
委 員 浅井 祐哉（学生委員会）

公益財団法人岡山県スポーツ協会

評議員 繁田 政男

公益社団法人日本トライアスロン連合

社 員 繁田 政男

## (一社)岡山県トライアスロン協会 強化指定選手制度

(一社)岡山県トライアスロン協会 強化委員会

## 共通条件

当該年度のJTU登録、もしくはJUTU登録をしていること

岡山県代表として国体に出場する資格及び意思を有する者(年齢が達していない者は、将来的にとする。)

各条件に達する者が指定人数を越えた場合は、認定級と前年度実績から強化委員会で判断し決定する。

## 認定期間

原則当該年度内(4月1日～翌3月31日)とする。

指定基準(JTU認定級を含む)を達成した翌日から3月31日までとする。

ただし、前年度1月以降に実施された記録会での認定を有効とする。

(ex:2022年2月実施認定記録会にて基準クリア⇒2022年4月1日から2023年3月31日まで有効とする。)

## 年齢ごとの強化指定基準および特典

強化カテゴリー	対象年齢	指定基準	支援内容
強化A選手 (4名程度)	18歳以上	国体、U23日本選手権および日本選手権で8位以内 JTU認定級 15級以上 国体岡山県代表選考レースにおいて、トップ選手の フィニッシュタイムから5%以内でフィニッシュし、岡山 県代表選手に選考された選手	・中国ブロック強化合宿参加費補助(定額) ・岡山県協会主催の認定記録会参加費(減免) ・岡山県協会主催の大会/事業へ招待 ・トレーニング、栄養、コンディショニング相談への対応
強化B選手 (2名程度)	18歳以上 /U19	高校生選手権、U19日本選手権で8位以内 強化Aの基準(選考レース基準を除く)をクリアしたが 国体参加年齢に達していない者 強化Aの基準を満たしていない国体岡山県代表選手	・中国ブロック強化合宿参加費補助(定額) ・岡山県協会主催の認定記録会参加費(減免) ・岡山県協会主催の大会/事業へ招待 ・トレーニング、栄養、コンディショニング相談への対応
強化C選手 (4名程度)	U15	U15日本選手権8位以内 JTU認定級(13-15歳)11級以上	・中国ブロック強化合宿参加費補助(定額) ・岡山県協会主催の認定記録会参加費(減免) ・岡山県協会主催の大会/事業へ招待 ・トレーニング、栄養、コンディショニング相談への対応
強化D選手	U12	検討中	検討中

日本選手権、年内別選手権等への出場に関する補助の詳細については検討中です。